

第36回 全日本自閉症支援者協会 研究大会 開催要項

1. 大会趣旨

「共に生きる社会を目指して」

2016年に起きた津久井やまゆり園事件から7年、その後も、神奈川県内の施設のみならず、障害の有る人たちへの虐待等の問題の発生を告げる報道がマスコミを通じてなされる日が絶えない状況が続いている事実を、福祉の仕事をしている私たちは重く受け止めなければならないと考えています。このような状況は本協会が設立当初から目指してきた「自閉症児者の人権と生きるための発達保障、自立ならびに社会参加」の実現はまだまだ達成できていない状況です。

神奈川県は、事件以後に行ってきた取り組みの結果の一つとして、2023年4月に「神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例 ～共に生きる社会を目指して～」を施行しました。こうした状況を踏まえ、今大会のテーマを「共に生きる社会を目指して」とし、障害のある人たちの権利について理解を深め、支援者として備えておくべき資質について改めて学ぶとともに共に生きる社会の在り方を考える機会としたいと考えました。

未だに新型コロナウイルス感染症の収束については予断を許さない状況ですが、4年ぶりに、全体会だけでも対面研修を再開したいとの声も多く以下のように企画いたしました。尚、分科会については実践報告という形で、後日配信による報告としたいと考えています。

- 1. 主 催** 一般社団法人 全日本自閉症支援者協会
- 2. 開催担当** 全日本自閉症支援者協会 神奈川ブロック加盟施設
- 3. 後 援** 厚生労働省、 こども家庭庁、 神奈川県、
一般社団法人日本自閉症協会、
公益財団法人日本知的障害者福祉協会、
一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会
- 4. 期 日** 令和5年12月11日(月) 13:00～
- 5. 会場・形式** 全体会：横浜ラポールシアター（〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752）
最寄り駅：JR 新横浜
実践報告：後日、インターネット YouTube 上でご視聴いただけます。
- 6. 参加対象者** 全日本自閉症支援者協会会員施設職員他、自閉症・発達障害・知的障害の支援に関わる職員、家族（保護者）、その他関係者、大会の内容に興味のある学生

7. 定 員 150 名

8. 参加費 無料ですが、事前申し込みが必要です。
下記の URL ないし、右記 QR コードでからお申し込み
ください。

<https://forms.gle/ehB15qRptWHLUCKAA>



9. お問い合わせ 【大会の内容に関すること】

大会事務局 - 社会福祉法人横浜やまびこの里

担当 小林

〒224-0024 横浜市都筑区東山田町 270

TEL 045-591-2728 FAX 045-591-2768

2. 大会日程・概要

時間	内容
13:00	開会
13:00~13:10	挨拶 楢上 利男 氏 (全自者協 会長)
13:10~14:10	行政説明①「発達障害支援施策について (案)」 厚生労働省 西尾 大輔 氏 (地域生活・発達障害支援室) 行政説明②「こども家庭庁における発達障害児施策 (案)」 こども家庭庁 今出 大輔 氏 (障害児支援課)
14:10~15:40	基調講演 「いわゆる「障害者の人権」を守るために、私たちに何が求められているのか」 講師 臼井 正樹 氏 (神奈川保健福祉大学 名誉教授)
15:40~16:10	報告「全自者協加盟施設における実態調査」 報告者 中野 伊知郎 氏 (全自者協 権利擁護委員会委員長)
16:10~17:50	鼎談「自閉症の人たちの権利をいかに守るか (案)」 鼎談者 ・野澤 和弘 氏 (植草学園短期大学副学長) ・楢上 利男 氏 (全自者協 会長) ・中野 伊知郎 氏 (全自者協 権利擁護委員会委員長)
18:00	閉会

電車・徒歩・バスをご利用の場合



拡大地図



- 新横浜駅から徒歩の場合
 - JR 横浜線「新横浜駅」(北口) / 横浜市営地下鉄および相鉄・東急新横浜線「新横浜駅」(1 番、5 番 A、9 番出口) から徒歩約 10 分
- 新横浜駅からリフト付き送迎バス(無料)をご利用の場合
 - 新横浜駅前(北口・福祉施設行バス乗り場) から、横浜市総合リハビリテーションセンター / 横浜ラポール専用(無料) 約 5 分
- 横浜市営バスをご利用の場合
 - 横浜市営バス(300 または 96 系統) で、「浜島橋」下車 徒歩 2 分横浜市営地下鉄「仲町台駅」 / JR 横浜線・横浜市営地下鉄および相鉄・東急横浜線「新横浜駅」